

白熱した議論が交わされた審議会



丹政クラブ 村田 正夫 議員

振興計画で市民に夢と希望を

具現化に努力したい **市長**

問 今回策定された「総合振興計画」は、市として最初で最上位の計画であり、市民に夢と希望を与えるものでなくてはならない。実施計画の立て方と進め方は重要であり、まずは、新規事業を打ち出すべきである。地方にとってこれからは、経営感覚と職員の育成、意識改革と情報収集、アイデアや調整力などが必要となってくる。特に職員が、常に問題意識を持ち果敢に改革に取り組み、いかに市民協働などをコーディネート

できるかがポイントである。あわせて、進めやすい組織の検討も必要である。
市長 計画策定の審議委員は、よき応援団であるので、大いに活用すべきではないか。また、タウンミーティングの検討とパブリックコメントのとり方の工夫も必要である。
市長 現在、実施に向け調整中で、ご意見を踏まえ、具現化に努力したい。審議委員は応援団との言葉、大変ありがたい。タウンミーティングは、開催のやり方等、大きな検討課題と認識して

いる。また、パブリックコメントは、重要な要素だと考えている。
問 計画推進には組織が重要との認識で、8月には機構改革を実施、11月には休日に管理職研修を実施した。今後、意欲的な職員の育成、多元的な対応ができる職員の育成に努めたい。
市長 綾部美山線の洞峠、京都日吉美山線の鏡坂峠は行き止まりであり、長年開通促進の運動が展開されている。鉄路のない美山町は、道路が唯一の移動手段であ

り、行き止まり集落は、集落維持機能が低下している。綾部の奥上林との「水源の里」連携を模索するなど、追い風となった限界集落支援対策を活用すべきではないか。
市長 長年の熱心な促進協力の取り組みに、敬意を表します。南丹市は、「全国水源の里連絡協議会」にも加盟し、過疎法の見直し等あらゆる手を尽くして、最も基本的なインフラである道路整備に努力していきたい。

栄町公民館進入路



丹政クラブ 橋本 尊文 議員

進入路の拡幅は区民の願い

地元の用地提供が必要 **市長**

問 栄町公民館進入路の拡幅は区民全体の長年にわたる切なる願いである。拡幅部分には多くの南丹市所有地が含まれるという好条件であり、検討を願う。また、改修・拡幅費用について地元負担が原則とのことであるが、地域活動の核となる施設へと通ずる道であり、そのことを考慮にいれた総合的判断を望む。
栄町区では小山東町の向河原団地の建設・

居住者の移転にともない、遊休地が増え、区画の空洞化が問題となっている。跡地活用は重要な事柄であると思われる。今後の計画について問う。
市長 新設する道路と現道との取り合い部分程度の区画は整備すべく検討をしている。公民館進入路については、地元用地提供が必要、整合性を図りながら進めていかなければならない。府営住宅の跡地

については管理に万全を期する。遊休地については個別の利活用・処分を検討していく。
問 保育所の新施設の検討について。昨今の社会形態の変化により保育所に対するニーズは多様化している。その対応を考えると、入所児童と比べて施設・設備の手狭さは否めない事実である。幼保一元化・認定こども園の検討を求める声も上がっており、環境面で

の配慮を考えると、抜本的対策が必要である。このような状況に対する市長の考えを伺う。
市長 保育所の総合的な政策検討を行う検討会の設置に努力している。幼保一元化・認定こども園などを検討する中で保育環境の一層の充実を踏まえ、新たな施設がどのようなものになるかということも含めて今後検討していく。

自転車の通行が危険な大堰橋



丹政クラブ 川勝 眞一 議員

八木大堰橋歩道橋は改修すべき

府も前向きに検討している **市長**

問 国道477号、八木大堰橋歩道橋は幅が狭く、非常に危険であるがどのように考えているのか。八木大堰橋は地域の住民の生活環境道路として通勤、通学、買い物、通院、幼稚園の送迎に利用されており、平成8年に竣工された、歩道部分の東側は幅3・3メートルと広く、昭和7年に造られた西側は、幅1・5メートルと狭い。人と自転車が通行する際、危険で、大きな事故がなかつ

たのが幸いである。朝の多いときは、10分間で約80人が利用し、土日はスポーツ施設の利用で約120人が通行する。西側の歩道橋は、安全に問題があるため、府に對しての対応を市長に伺う。
市長 歩道橋は、中学生の通学路や施設等の方が多く利用されており、旧八木町時代からも歩道橋の安全性は府に對し、要望を行い、府の方も今、前向きに検討をしていると聞く。1日も早

く、改良促進が実現するように、引き続き要望を続ける。
問 組織機構見直しが行われ、新たに環境課ができ、地球環境問題、生活汚染、リサイクル社会、自然再生、街並み景観などの取組みが必要であるが、環境省レッドリストカテゴリーのアユモドキ・オオサンショウウオなどの南丹市内における絶滅寸前種、絶滅危惧種の保全で、市内での生息確認調査・保護啓発

について伺う。
市長 このすばらしい市内の自然を保護することは市民の貴重な財産であり、保全にもつながる。市民と市が主体となり生息調査を実施。20年には府において絶滅野生生物の保全に関する条例が施行される。地域住民の協力のもと、子供達に、故郷に對する誇りと愛情を持ってもらう観点から、学校・社会教育の場において、取り組んでいきたい。

子育ての悩みや情報を交換しあえる子育てすこやかセンター



活線クラブ 八木 眞 議員

子育て支援の充実を

民生児童委員の意見も聞き **市長**

問 子育てすこやかセンターについて
八木町の子育て支援について。
市長 子育て支援センターの充実について、八木町にはポランテア、「すくすく八木っこ」という団体が取り組んでいただいている。今後、民生児童委員さんの意見も聞きながら進めていきたい。
問 生活道路の設置について
中央道路建設に伴い

移転した先に進入路が未だにない。
市長 中央道路建設に伴う移転先の道路整備について、早急に周辺の方のご意見を聞きつつ取り組む。
問 基幹道路について
中部広域圏の中核病院である南丹病院への進入道路が借地であり、賃料を病院が支払っている事実を解消し、その延伸を早期に実行、本郷一垣内間の環状線として都市計画道路の位

置づけをせよ。
市長 南丹病院新病棟用道路を本郷駅西區画整理と整合性を考えながら長谷線整備と合わせつつ早急に取り組む。南丹病院の意見を聞きつつ、用地買収の進んでいる場所から順次進める。
問 環境衛生について
今、当地区の生活ごみの一切を民間企業のカンポリサイクルプラザにまかしている。周知のごとくダイオキシンの発生により一時休止を余儀な

くされ、我々のごみ焼却を他自治体に助けてもらっている。根本的に公衆衛生上、「ゴミ問題を」私企業に任せてしまうことはいかなるものか。今後、亀岡京都も含めた広域的行政課題として取り組むつもりはないか。
(通告外質問のため答弁なし)